別紙（様式１）

履　歴　書

令和　　年　　月　　日現在

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ふ り が な  氏　　名 |  | | | 写 　　真 |
| 生年月日 | 年　　　月　　　日生　（満　　　　才） | | |
| 国　籍 |  | | |
| 現　職 |  | | | |
| 現住所 | 〒 | | | |
| E-mail |  | 電話番号 | （ ） 　－ | |
| 学　歴 | ２０○○年４月～２０○○年３月 ○○大学○学部在学（卒業）  ２０○○年４月～２０○○年３月 ○○大学大学院○学研究科修士課程○○学専攻在学（修了）  ２０○○年４月～２０○○年３月 ○○大学大学院○学研究科博士後期課程○○学専攻在学（修了） | | | |
| 学　位 |  | | | |
| 資　格 |  | | | |
| 職　歴 | ２０○○年４月～２０○○年３月 日本学術振興会特別研究員（ＤＣ/ＰＤ）（○○大学○○研究所）  ２０１９年４月～現在 ○○大学○学部助教  この間  ２０○○年○月～２０○○年○月 ○国○○○○大学博士研究員  ※職歴に空白年月がある場合には説明を記入する。 | | | |
| 賞　罰 |  | | | |

別紙（様式２）

業　績　目　録

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **業績**（原著，総説・著書等）  ■業績の記載末尾に，「業績のまとめ」について総数等を記入してください。  ■被引用回数については根拠としたデータベース（Web of Science，Google Scholar等）を示してください。  ■2020年以降の業績については，IF（impact factor）を記入してください。ただし，IFは掲載年のものを記載し，未確定のものは最新のIFを使用してください。  ■主筆は，first author または corresponding author　とします。  ■国際共著，Q1に該当する場合はインパクトファクター（IF）の後に記載してください（原著のみ）。  　※国際共著：外国の研究機関に所属する研究者が含まれている。 | | |
| 原著（主筆には○印を付記・題目・著者名（全員，本人に下線）・誌名・巻・初頁～終頁・年，被引用回数，インパクトファクター（ＩＦ），国際共著，Q1） | | |
| 総説・著書（主筆には○印を付記・題目・著者名（全員，本人に下線）・誌名・巻・初頁～終頁・年，被引用回数，インパクトファクター（ＩＦ）） | | |
| 出願特許  学会招待講演等  その他 | | |
| **業績のまとめ** | | |
| 原著 | 総数　　　編  （被引用回数の合計　＝　）  主筆　　　編  （被引用回数の合計　＝　） | 欧文　　　　編（主筆　　編）  和文　　　　編（主筆　　編）  国際共著　　　編（主筆　　編）  Q1　　　編（主筆　　編） |
| 上記のうち，2020年以降の原著  総数　　　編  （被引用回数の合計　＝　）  （IFの合計　＝　）  主筆　　　編  （被引用回数の合計　＝　）  （IFの合計　＝　） | 欧文　　　編（主筆　　　編）  和文　　　編（主筆　　　編） |
| 総説・著書 | 総数　　　編 | ・欧文　　　編  ・和文　　　編 |

別紙（様式３）

研究業績概要書

　主な研究内容の概要を３～５項目に絞り，各項目４００字程度にまとめること。 内容に対応する原著論文の番号(様式２の番号を記載)も付記する。Ａ４用紙２頁以内，図等の挿入も可とする。

[1]　○○○○○○に関する研究（原著論文 ○，○，○）

２０○○年○月から○○○○○○○○○○○○は世界の注目を集めている。

[2] ○○○○○○に関する研究（原著論文 ○，○，○）

２０○○年○月から○○○○○○○○○○○○できることを明らかにした。

[3] ○○○○○○に関する研究（原著論文 ○，○，○）

２０○○年○月から○○○○○○○○○○に関する有益な知見を得ている。

[4] ------------

[5] ------------

研究に関する今後の抱負

別紙（様式４）

教育に関する経歴書

Ａ４用紙２頁以内，図等の挿入も可とする。

１．担当授業科目名

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学部・研究科名等 | 授業科目名 | 時間数 | 講義・演習・実験・実習の別 |
| ○○学部 | ○○○○論 | ２ | 講義 |
| 同上 | ○○○○実験 | ２ | 実験実習 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

２．大学院学生指導状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究科名 | 修士・博士の別 | 指導人数 | その他参考事項 |
| ○○○学研究科 | 修士 | ○人 | うち研究指導補助○人 |
| ○○○学研究科 | 博士 | ○人 |  |
|  |  |  |  |

　　研究指導担当の資格審査が未受審の場合の論文指導等は『研究指導補助』と記載すること。

３．教育上の能力に関する特記事項

教育GP（Good Practice）などの実績があれば，記入する。

教育に関する今後の抱負

別紙（様式５）

学会及び社会における活動状況

１　学会活動

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学会等の名称 | 現在の状況 | 役職等（年月）  過去5年で特にアピールしたい役職 |
| 日本○○学会 | 正　会　員 | ○○委員会委員（２０○○年○月） |
| 日本○○学会 | 正　会　員 | ○○会参与（２０○○年○月） |
| 日本○○学会 | 正　会　員 |  |
|  |  |  |

　学会等からの受賞

　○○学会　○○賞（２０○○年○月）

２　社会連携・国際交流活動（１　学会活動を除く）

　　産官学共同研究　　○○省○○プロジェクト

　　研究会等　　　　　○○会議，○○研究会，○○セミナー等の企画，開催等

　　学外委員会等　　　○○委員会委員長，○○審議会委員

　　国際共同研究　　　○○大学と○○に関する共同研究

　　国際研究集会　　　○○国際会議，○○研究会，○○セミナー等の企画，開催等

別紙（様式６）

科学研究費助成金等の研究助成金採択状況

（平成27年度から令和7年度について記載する）

１．外部資金（使途の特定された資金）の獲得状況

（種目，課題名，交付年度，交付金額，代表者・分担者の別等を記入のこと）

１）

２）

２．外部資金（寄付金・雑収入等の使途の特定のない資金）の獲得状況

（種目，課題名，交付年度，交付金額，代表者・分担者の別等を記入のこと）

１）

２）

別紙（様式７）

応募者について照会に応じられる方

氏名：

所属・役職：

住所：

メール：

電話番号：

書類記入上の注意事項

１．履歴書（様式１）

（１）学歴欄には，大学・学部入学以降の学歴を記入する。

（２）学位欄には，博士の学位名，授与された年月日および授与された大学名を記入する。

（３）資格欄には，薬剤師免許などの特筆すべき免許および取得年月日について記入する。

（４）職歴欄には，研究生などの研究歴があれば所属教室等も記入する。また，職歴に空白年月がある場合には，説明をつける。

２．業績目録（様式２）

次の区分および順序で，最新のものから順に記載する。

主筆には，○印をつける（主筆は，first author または corresponding author とします）。著書名および題目名は，和文論文は和文で，欧文論文は欧文で記載する。

（１）原著（査読制度のある雑誌に掲載されたもの）

投稿中のものは記載しない。ただし，掲載予定のものはその証明となるものを添付の上，記載する。

（２）総説・著書

総説で，投稿中のものは記載しない。ただし，掲載予定のものはその証明となるものを添付の上，記載する。著書で共著の場合は，著者全員の氏名を，分担執筆の場合はどの項を分担したかを記載する。翻訳の場合は，その旨を記載する。

（３）出願特許

（４）学会招待講演等

最近５年以内の国際および国内学会の招待講演等について記載する。

（５）その他

３．論文等の別刷

業績目録の中から応募者の自選により，主要な論文等の別刷（５編以内，コピーも可）を添付する。

４．研究業績概要書と研究に関する今後の抱負（様式３）

Ａ４用紙２頁以内，図等の挿入も可とする。

５．教育に関する経歴書と教育に関する今後の抱負（様式４）

Ａ４用紙２頁以内，図等の挿入も可とする。

６．学会及び社会における活動状況（様式５）

加入学会および役職名，学会等における活動（学会誌の編集委員等），学会等からの受賞，公的な委員等における活動を記載する。

７．科学研究費助成金等の研究助成金の採択状況（様式６）

平成27年度から令和7年度について記載する（代表者・分担者を明記すること）。

８．推薦書（様式任意）、推薦者の連絡先（様式７）

推薦書は，推薦者から「生理機能情報学分野」助教候補者業績審査委員会へ別途提出する。

なお，推薦者には委員会からご意見をうかがう場合があり，この場合に備えて，推薦者の氏名および連絡先を記載した書類（様式７）を添付すること。